

# 地域のみんなできり組む 住みよい農村づくり

## 農地・水・環境保全向上対策について

集落における高齢化や混住化により、農地や農業用水路、農道などの資源を適切に保全することが困難になってきています。このような状況の中、将来にわたってこれらの資源や農村環境を守るためには農業者だけでなく地域ぐるみでの取り組みが必要となってきます。

この対策は、地域ぐるみで農地や農業用水路、農道などの資源や農村環境を守る共同活動組織を構築するために支援するものです。

## 平成21年度活動報告（6地区資源保全隊総計）

### 主な活動参加状況

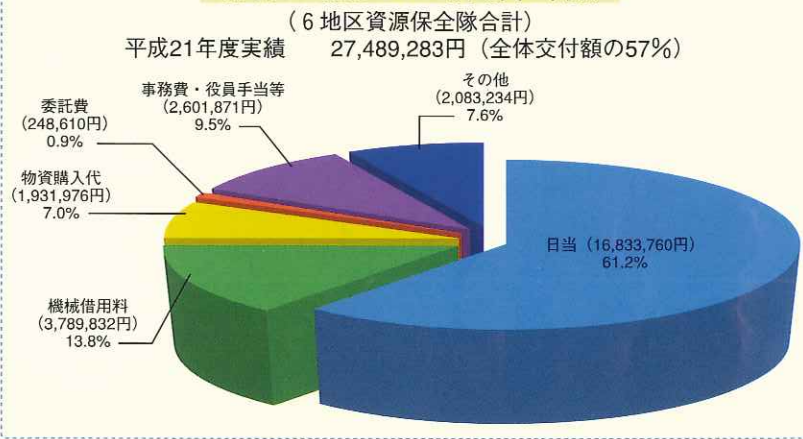
- 水路の泥上げ作業 延べ 2,633人
- 草刈作業 延べ 6,441人
- 砂利敷き作業 延べ 116人
- 清掃活動 延べ 8,342人
- 植栽活動 延べ 1,783人
- その他活動 延べ 562人



### 行政区へ配分された活動費

行政区へ配分された活動費は、活動に必要な日当、借用料、物資材の購入費、事務用品等に使用されております。

#### 行政区へ配分された活動費の内訳

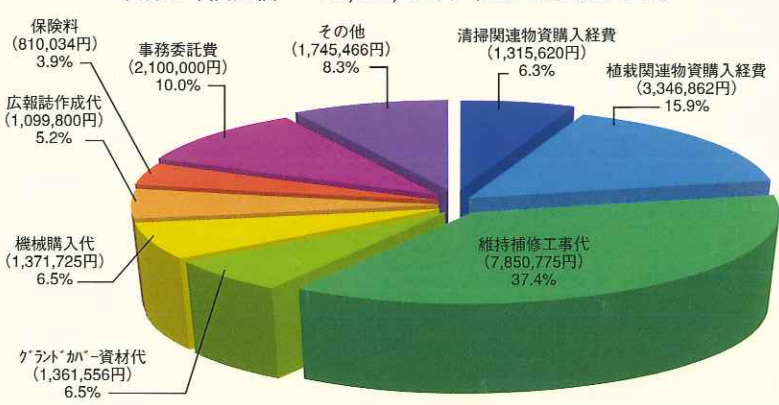


### 保全隊で執行した経費

保全隊で執行した経費は、行政区全体の活動に係る、物資材の購入費、事務委託費(巨理土地改良区)、保険料、施設の維持補修費、機械購入費等に使用されております。

#### 保全隊で執行した活動費の内訳

(6地区資源保全隊合計)  
平成21年度実績 21,001,838円 (全体交付額の43%)



### 主な執行内容

- <清掃関連>**
  - 巨理町清掃の日における、啓発タオル、軍手、ゴミ袋の購入配布
  - ゴミ捨て防止看板の制作 (60枚)
- <植栽関連>**
  - 春の植栽における、培養土、腐葉土、花苗 (20,578株) 等の購入配布
- <維持補修関係>**
  - 維持補修工事……………18件
- <グラントカープランツ>**
  - ため池…………1箇所、道路路面…………1箇所
- <機械の購入>**
  - トラクター装着型草刈機 (モア)…………1台
- <広報誌の発行>**
  - 全戸配布……………2回/年





# 『体制整備構想(案)』が策定されました

平成19年度から亘理町全域で取り組んでいる農地・水・環境保全向上対策については、町内において6つの資源保全隊が組織され、地域ぐるみの活動により農地や農業用水路、農道などの資源や農村環境を守るため様々な共同活動が実施されているところであります。

本対策では事業期間終了時(平成23年度)までに、現在行われている共同活動を将来的に持続させていくための構想を策定する必要があり、その策定にあたっては、前回、町内4,000戸に対し実施したアンケート調査結果に基づき、体制整備構想(案)を策定いたしました。体制整備構想(案)については、各資源保全隊毎に策定しておりますが、今回、6地区資源保全隊の体制整備構想(案)を要約し掲載しましたのでご覧ください。

## 『6地区資源保全隊 体制整備構想(案)』要約

### 1. 将来の体制の見通し

#### (1) 活動の担い手の年齢構成等(現状)

6地区資源保全隊では主に、基礎部分の活動は農業者が、農地・水向上活動及び農村環境向上活動については農業者、区会が中心となり、婦人会、老人会、子供会等の参加をえながら活動を行っている現状にある。

##### ・亘理町人口の年齢別構成

(表1)

年齢区分	調査年度	S60	H2	H7	H12	H17
10歳未満		14.7%	12.1%	10.3%	9.2%	8.9%
10歳以上20歳未満		14.4%	16.0%	15.3%	13.3%	11.2%
20歳以上35歳未満		19.5%	16.2%	16.3%	17.5%	18.0%
35歳以上50歳未満		20.6%	22.4%	23.3%	20.7%	18.2%
50歳以上65歳未満		19.1%	19.0%	18.3%	20.8%	23.1%
65歳以上75歳未満		7.3%	8.7%	10.3%	11.0%	11.0%
75歳以上		4.4%	5.6%	6.2%	7.5%	9.6%

20.6%

※国勢調査資料

##### ・主な活動区分毎の参加年齢別構成

(表2)

年齢区分	活動区分	・基礎部分、農地・水向上活動部分 (水路の泥上げ、道水路の草刈り、道路の砂利敷き)	・農村環境向上活動部分 (清掃活動、植栽・管理活動)
10歳未満		—	1.9%
10歳以上20歳未満		0.3%	3.7%
20歳以上35歳未満		3.7%	3.0%
35歳以上50歳未満		15.8%	13.4%
50歳以上65歳未満		48.0%	41.4%
65歳以上75歳未満		24.4%	24.6%
75歳以上		7.8%	12.0%

32.2%

※アンケート調査結果

#### (2) 高齢化を踏まえた概ね10年後の推定

亘理町の人口における年齢別構成(表1)では、65歳以上の占める割合が年々増加し、直近値の平成17年度においては20.6%を占めており、この傾向は今後も続いていくと考えられる。

これらを含め調査結果による基礎、農地・水向上活動部分の活動内容については、水路の泥上げ、道水路の草刈等が主であり、作業にはかなりの労力と時間を要するものである。主な活動区分毎の参加年齢別構成(表2)で示すとおり作業の主力は50歳以上65歳未満の参加者であり、全体の48.0%を占め、次いで、65歳以上75歳未満の参加者で24.4%となっている。仮に10年後に、現在65歳以上の参加者が活動に参加できなくなるとした場合、本活動組織では32.2%の活動人員が減少すると考えられると共に、参加者の世代交代がスムーズに移行できなかった場合については、活動主力の高齢化が一層進み労力の低下が考えられる。農村環境向上活動部分の活動内容については、地域内の清掃、植栽活動であり、作業は比較的労力を要しない簡易なものである。参加者の形態は基礎、農地・水向上部分と同様な傾向にあるが、活動は高齢者の地域内交流の側面もあることから、参加世代の引継ぎをスムーズに行うことが活動の維持に必要と考えられる。

### 2. 共同活動の将来像

#### (1) 当地における農地・水・環境が有する社会共通資本としての役割

- ・農村資源(農地、農業用水路、農道、ため池)における役割
  - ・農村資源は食料生産の最も基礎的資源である。
  - ・大雨時の一時的な貯水を担い、地域の生命・財産を守る防災機能としての役割を担っている。
  - ・農村における資源は、地域の交流・つながり及び子供への生態・環境の学習の場を提供している。
  - ・農村における、その風景・環境は地域の人々にゆとりとやすらぎの場を提供している。

#### (2) 将来展望

- ・あるべき参画者
 

農村資源は農業者のみならず地域全体の資源であることへの理解は、アンケートの結果約6割が多面的機能等を農村資源は有していると考えている。そのことから保全には農業者のみならず地域全体でその活動に参画することが適当であると考えます。
- ・あるべき役割分担
 

保全活動は、その資源から受ける利益に応じて役割を分担することが望ましいが、農家の現状は新規就農者の減少、他産業への流出、高齢化等、年々減少衰退している。このことから、従来、基礎部分の活動については、農業者個々において維持保全されてきたが、現状及び多面的機能における役割を考慮すると、農業者を中心としながらも、非農業者と連携し地域一体となって維持保全を図る必要がある。更には、10年後を想定した場合に、前述で示すように高齢化により活動人員が32.2%の減少及び労力の低下が想定されることから若年層等の新たな参画者を確保し、活動人員の世代交代を模索する必要があると考える。

### 3. 地域農業の担い手の育成・確保

活動組織において主要な役割を果たす農業者のうち、地域農業の担い手となる農業者の育成は、活動組織の体制の強化につながることから、亘理町で定める「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」等に準じ町内の6つの活動組織において、それに向け担い手の育成・維持確保の一端を担うよう努める。

#### ・亘理町で定める目標(平成26年度)

内容	現状	目標	備考
1. 認定農業者の維持・育成	203人	266人	
2. 担い手への農地の集積	1,112 ha	2,118 ha	亘理町の農地面積の64.8%
3. 生産組織等の育成	13組織	16組織	

### 4. 将来展望を実現するために取り組む具体的方策

- ・資源の保全管理の省力・効率化を図るため、機械化と併用しながらの維持管理を進める。
- ・農地や農業用水路、農道等の資源が有する多面的機能の情報及びそれを保全する活動について亘理町の広報誌等による紹介、また、亘理町において実施されている出前講座等を活用しながら、広く啓発を行い新たな参画者の誘導を図る。
- ・基幹的な水路・道路の維持管理作業については、その性質・機能を踏まえながら、亘理町と作業の連携を行い保全する。

※6地区資源保全隊毎の体制整備構想(案)については、亘理町及び亘理土地改良区のホームページに掲載しています。

亘理町産業観光課 (<http://www.town.watari.miyagi.jp/index.cfm/7,0,41,184.html>)

亘理土地改良区 (<http://www8.ocn.ne.jp/~watari/index000.htm>)

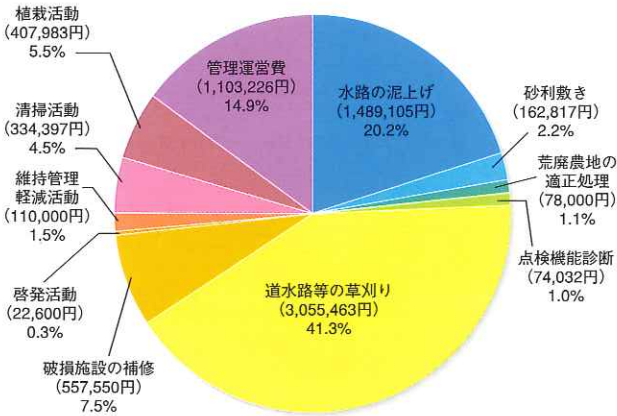


# 平成21年度 6地区資源保全隊の活動内容及び支出状況

## 逢隈北部地区資源保全隊活動費

(交付金 7,394,640円＋利子 533円 = 7,395,173円)  
 ※主な活動内容 泥上げL=39km 草刈(2回)L=83km 砂利敷きL=4km

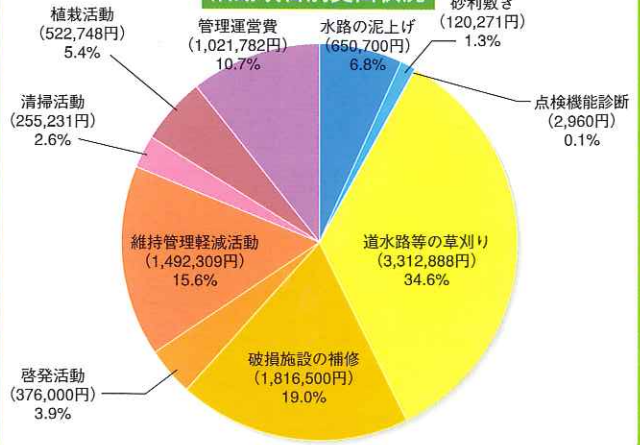
### 活動項目別支出状況



## 逢隈南部地区資源保全隊活動費

(交付金 9,570,440円＋利子 949円 = 9,571,389円)  
 ※主な活動内容 泥上げL=15km 草刈(2回)L=99km 砂利敷きL=2km

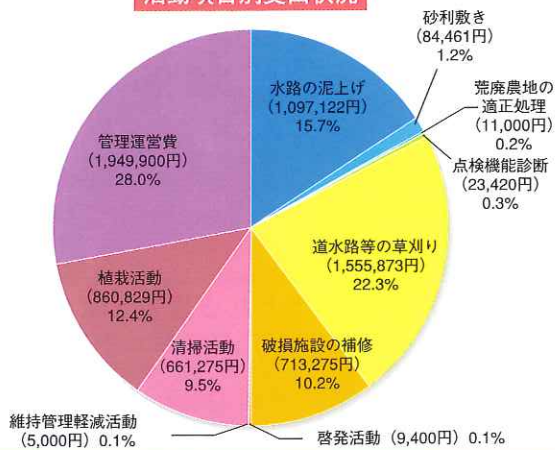
### 活動項目別支出状況



## 巨理地区資源保全隊活動費

(交付金 6,970,920円＋利子 635円 = 6,971,555円)  
 ※主な活動内容 泥上げL=22km 草刈(2回)L=43km 砂利敷きL=2km

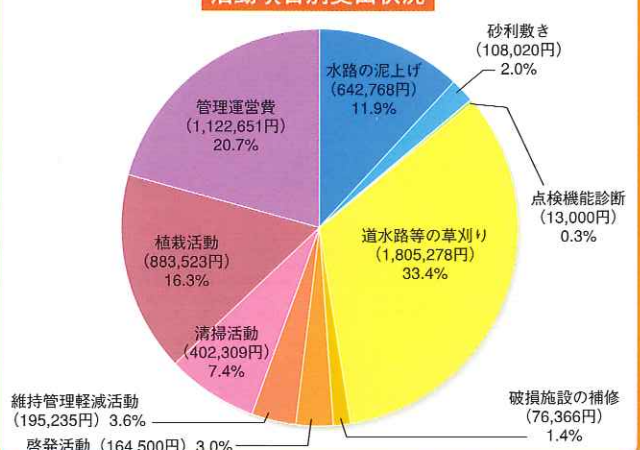
### 活動項目別支出状況



## 荒浜地区資源保全隊活動費

(交付金 5,413,320円＋利子 330円 = 5,413,650円)  
 ※主な活動内容 泥上げL=15km 草刈(2回)L=48km 砂利敷きL=2km

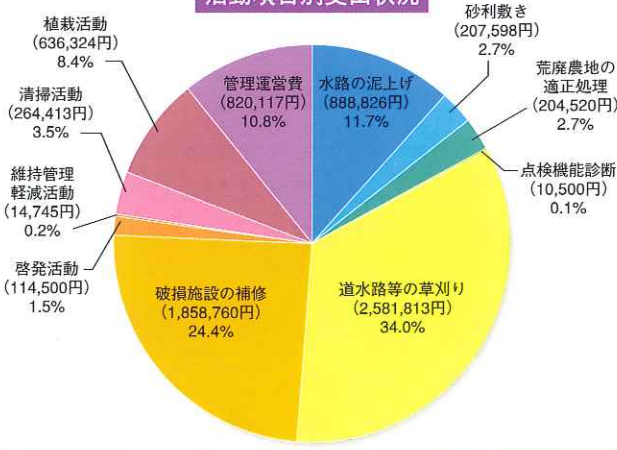
### 活動項目別支出状況



## 吉田東部地区資源保全隊活動費

(交付金 7,601,440円＋利子 676円 = 7,602,116円)  
 ※主な活動内容 泥上げL=24km 草刈(2回)L=69km 砂利敷きL=5km

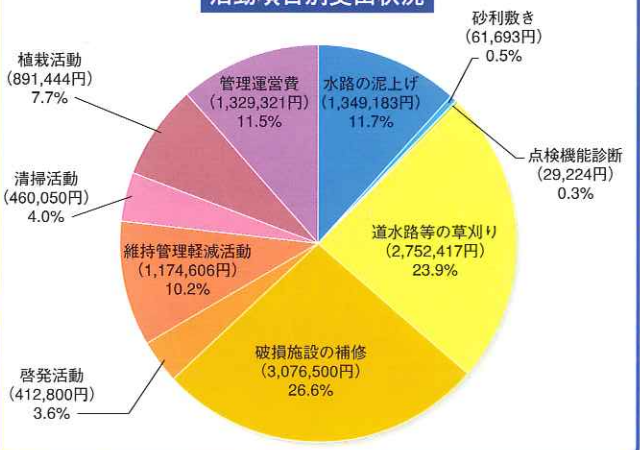
### 活動項目別支出状況



## 吉田西部地区資源保全隊活動費

(交付金 11,535,920円＋利子 1,318円 = 11,537,238円)  
 ※主な活動内容 泥上げL=23km 草刈(2回)L=64km 砂利敷きL=2km

### 活動項目別支出状況



発行

- ・逢隈北部地区資源保全隊
- ・逢隈南部地区資源保全隊
- ・巨理地区資源保全隊
- ・荒浜地区資源保全隊
- ・吉田東部地区資源保全隊
- ・吉田西部地区資源保全隊

※活動についての相談は巨理町産業観光課 (TEL.34-0503)  
 または巨理土地改良区 (TEL.34-1319)へ